

相馬 ゆうこの 南千住レポート

荒川区荒川2-2-3区役所内 5階 区議団控え室 ☎ 3802-4627

FAX 3806-9246 メール arajcp@tcn-catv.ne.jp

相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6 2階

TEL・FAX 3807-4192

jcp-arakawakugidan.jp/
ツイッター @m1010_yuko
araken-nan.jugem.jp



暮らし・まちづくり
の情報を届けます

学校希望状況 小学6校・中学1校で抽選に

荒川区は学校選択制度を実施しています（ただし、汐入小・第三中は学区外からの受け入れ制限）。22日に来年度入学の区立小中学校・希望校申込み状況（下表）が報告されました。

**南千住地域は 南千住地域の小・中学校は抽選
抽選なしに** なしで、希望校にそのまま通える見込みです。小学校で抽選となったのは、峡田・四峡・尾久・第一日暮里・第二日暮里・ひぐらしの6校で、日暮里地域が目立ちます。ここ数年、新規マンション建設などで子育て世帯が増加、教室不足が深刻です。三河島駅北地区と西日暮里駅前の2つの

【小学校】（南千住）

	受入可能児童数	申込者数合計	学区内	
			学区内	区域外
瑞光	99	94	64	30
二瑞	66	43	30	13
三瑞	133	126	121	5
汐入	—	148	148	0
汐入東	99	90	86	4
六瑞	33	13	7	6

【中学校】

	受入可能生徒数	申込者数合計	学区内	
			学区内	区域外
第一中	99	142	107	35
第三中	—	224	224	0
第四中	99	116	54	62
第五中	99	108	83	25
第七中	99	67	56	11
第九中	99	58	46	12
南二中	166	213	140	73
原中	99	86	75	11
尾久八幡中	133	237	138	99
諏訪台中	166	273	251	22

全ての学校の条件整備を 小中学校は子どもたちの基礎学力定着とともに、さまざまな地域生活の中心でもあります。希望校への進学も大切ですが、安全を踏まえた適切な通学区域や各学校の教育条件整備こそ、教育委員会や大人の責任です。先生たちの長時間・過密勤務の改善も待ったなし。

三瑞小学校の学区などでマンション建設がつづいて、教室や子どもたちの施設の確保が引き続き問われています。それでも長期的には少子高齢化がすすむ中で、どのようなまちづくりをするのかみんなで考えたい。

※学校選択制度…

荒川区では、小学校は学区内の隣接校、中学校は全区的に学校選択できます。23区で17区が選択制を導入しています



区民陳情～「南千住第三幼稚園のクラス編成を」



区立南千住第三幼稚園の来年度3歳児の募集停止に対して、

「来年度もクラス編成を継続をしてほしい」と声があ

がっています。区議会へも保護者などから「来年度の学級編成を強く希望する」陳情が提出されました。

**途中入園も 区教育委員会は、区立幼稚
多い3歳児 園について「3歳新入園児の**

申込みが7名以下の場合には募集停止」という規定をつくり、来年度の申し込みが5名だった南千住第三幼稚園の3歳児クラスの募集停止としています。

しかし、昨年度申し込みが7名以下だった尾久・東日暮里各幼稚園は、経過措置として募集停止をせずに学級編成を行い、年度途中にはクラス人数が9名に。早生まれの子どもや発達によっては途中入園するケースもあります。年度当初の人数で機械的に決めてしまうのは、早すぎるのではないのでしょうか。

**給食・延長保育 第三幼稚園を申し込んだ5名のうち2名は、きょうだいが在園
など条件整備も** 児とのこと。募集停止で別々の園に通えば送迎が大変、また、兄・



姉が転園となると子どもへ影響もあります。卒園児も保護者も愛着をもっている区立園をなくすのではなく、区と教育委員会は誇りをもって存続してほしい。現在、区外通園も多く、災害時の帰宅困難対策からも、区立園含め地域の幼稚園整備が求められます。区立園のアピールと、給食や保育時間などの要望を早急に検討し、保護者の選択肢を増やすことが必要です。

荒川区立南千住第三幼稚園 令和4年度3歳児学級編成に関する陳情書

趣旨 荒川区立南千住第三幼稚園 令和4年度3歳児入園募集に対し、申込が5名であり、「7人以下は学級編成無し」という規定に満たなかったが、令和4年度3歳児学級編成を強く希望する。

理由 申込をした5名中、2名は令和4年度の本園4歳児・5歳児とのきょうだいであり、長子も通い入れた本園での通園を希望している。転園となる場合、距離的にも時間的にも通園が困難となり、子どもは心身ともに余裕がなくなることが考えうる。また、3名は本園修了児の次子である。保護者も本人たちも本園に愛着を持っており、入園を強く希望している。きょうだい関係のそろっての本園への通園も考慮し、令和4年度までの学級編成を強く希望する。

11/19～コロナワクチン接種券を医療関係者に送付

荒川区のワクチン接種率は65歳以上91.1%、全体で82.5%の方が2回目まで接種済みです。3回目接種対象は、2回目接種日から8か月以上経過した18歳以上の方で、まず医療従事者の方に、19日(金)から接種券が発送されました。各医療機関で12月から接種開始します。

医療従事者以外の一般の方には、来年1月中旬から発送し、予約受付を開始。区は、2回目接種日から7か月経過する頃までに接種券が届くよう順次発送予定です。

〈法律・生活相談〉 12月の定例法律相談日は9日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第二木曜午後6時からですが、平日の午後には法律事務所（北千住）でも可能です。

お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

高専ロボコン2021～都立産技高専荒川Aも特別賞

全国高等専門学校ロボットコンテスト（高専ロボコン）の関東甲信越地区大会が10月31日に行われ、10校・19チームが出場。南千住の都立産業技術高専（産技高専）荒川キャンパスA・Bチームも出場しました。



産技高専のすごい技ロボット 新型コロナ感染防止のため、地区大会は昨年引き続きオンライン開催。テーマは「超絶機巧（すごロボ）」、生徒たちの技術や新しい技を追求した「すごい技のロボット」のパフォーマンスが披露されました。

荒川Aチームはボールを投げるロボットとキャッチするロボットの2体を作製。ボールを投げ遠くの的に当てるロボットは人が操縦、受けるロボットは小型カメラで動くものを認識する自動操縦のロボット。「ボールを受けるには、左右だけでなく前後を認識して動くのが難しい」そうです。ロボットが投げたボールをロボットが受け取るパフォーマンスも成功、すごかったです。



荒川Bチームは合体する3つのロボットを作製。物語風のパフォーマンスで、合体の場面では「頑張れ」という仲間の声に、思わず声をかけたくなりました。「3つをそれぞれ完成させ、さらに合体させる調整が大変だった」とのこと。昨年と同じメンバーで挑戦したそうで、来年もがんばってほしい。

オンラインやNHKで放映 優勝は、東京工業高等専門学校 Aチームで全国大会に出場決定。産技高専荒川Aチームは特別賞を受賞しました。全国大会は11月28日(日)に両国国技館で開催、オンライン配信もあります。NHKの放映は12月25日(土)です。ぜひ、みなさんでご覧下さい。



荒川Bチーム合体したロボット

※都立産業技術高専（産技高専）は、2006年に都立航空工業高専（荒川区）と都立工業高専（品川区）を統合して設置。航空高専は荒川キャンパスに、工業高専は品川キャンパスになりました。今でも荒川には、航空機などの展示館（公開日あり）があり「航空高専」という名前に親しみを感じる方も多くいます。高専は高校と大学二年次相当の5年間の一貫教育です。卒業するとものづくり企業や大学3年に編入してさらに大学に進む学生さんも多いようです。

都営住宅の地元割当の募集があります



対象は右の3か所、南千住四丁目は2人以上世帯の募集です。

申込書配布 区役所1階総合案内・区民事務所・ふれあい館等、12月1日(水)まで

申込み締切 用紙に記入し郵送、12月3日(金) 荒川郵便局必着

抽選日 12月14日(火) 決定後、申込者全員に結果をお知らせします

お手伝いもします、ご相談下さい

住宅名	間取り	入居対象
南千住四丁目	2DK	2人以上
町屋五丁目	1DK	1～2人
西尾久八丁目第二	2DK	3人以上

自然公園の白鳥の名前が決まりました

荒川自然公園「白鳥の池」の新しいつがいのコブハクチョウの名前を公募していましたが、オスが「レオ」・メスが「サクラ」に決まりました。



1か月間余で1,411件の応募があり、上位10点の中から荒川自然公園をお散歩等で利用している保育園・幼稚園児に決めてもらいました。記念に12月中旬に、白鳥をモチーフに「トレーディングカード」を作り配布する予定です。

2羽の白鳥は今年3月、コールドックといっしょに千葉県富里市にある動物飼育所からやってきました。オスの「レオ」はくちばしの色が濃く、くちばし上のコブが大きい。メスの「サクラ」は、くちばしの色が薄く、くちばし上のコブが小さいとのこと。見分けてみて下さい。



荒川自然公園は、三河島水再生センターの上に人工地盤を造って設置されており、珍しいつくりの公園です。管理事務所によると今、サザンカやツワブキが咲いているとか。

75歳で理美容等の国保→後期高齢に…でも健診受診票が来ない!?



健康診査が11月末日までで間もなく終了です。

健診は、後期高齢者医療保険広域連合から区が委託を受けて受診票を送っているのですが、「今年7月以降に75歳・後期高齢になった方で理・美容などの職域国保組合に入っていた方」には、後期高齢者医療保険の健診受診票が送られてきませんでした。社会保険加入の方は年に1回の会社の健診を受けられますが、国保組合から後期高齢者医療保険になった方は、今年の健診を受け損ねる方がいるかもしれません。



区に電話で申し込めば、すぐ受診票を郵送してくれるようですが、後期高齢者医療の保険証と一緒に受診券を送付できないか、検討してほしい。ちなみに墨田区は、健診を年内いっぱいまで今年延長しています。これも参考に。

7月以降生まれにも受診票送付を

ご意見・ご質問頂きました ○「宣伝カーの音で子どものお昼寝が中断する時があります。時間を検討してください。ニュース読ませていただいているのでそれだけでもよいかも」とご要望頂きました。…わかります。平日では、保育園のお昼寝タイムは、注意をしているのですが、休日もお家の中でのお昼寝もありますよね。できるだけ午前中と3時以降の宣伝にしたいと思います。○「さくらバスの運行本数が減ってしまい、不便になっています。」という声。さくらバスは京成の自主運行で赤字。コロナが落ち着くまで運行本数確保に区の補助を求める署名を始めました。

